

第4回岸和田市丘陵地区整備計画検討委員会 「彩都」現地視察

平成19年2月21日

UR都市機構彩都開発事務所

13:00～16:00

UR都市機構彩都開発事務所において、UR都市機構より、「彩都の事業概要」と阪急電鉄より「彩都のコミュニティ活動支援」について説明を受けました。

主な説明内容は

- UR都市機構
主な経緯・位置・計画諸元・事業の推進体制・現在の整備等状況・造成工事の進捗状況等
- 阪急電鉄
彩都スタイルクラブについて、地域ポータル彩都「彩都NAV I」・まち共用施設の導入・コミュニティ活動支援（各種教室、棚田の活用、イベント）・カーシェアリング・彩都フロントサービス等
- 彩都現地視察

主な意見

委員 計画、実施に向けて複雑な取り組みをしている。

委員 大学とか、鉄道が必要で、誘致する必要があると思う。

委員 大阪には南北の格差を率直に感じた。アセスの関係、企業の参画、行政の熱の入れ方、率直に感じた。だからコスモの場合も、見学させていただいたノウハウをどのように活かしていったらいいのか、これからの課題だと思う。

委員 規模が全く違う、工事費も大きな違いがある。ただ、造成にかかる費用的なものは岸和田の方が少なく済むのではないかと思う。

委員 土地所有者の形態が違う、彩都は阪急さんが40%、後は個人とURさん、岸和田の場合は個人が主流である。だから、今後民間の参画も視野に入れて検討していかなければ。

委員長 好条件が整っている地区でありながら、まだ企業立地が半分しか進んでいない実態としてあります、その辺り私共も色々考えて、知恵を出して生きたいと思う。
等の意見が出されました。



要約しています。詳細については議事録本文をご覧ください。